



平成26年11月12日

国土交通省中部地方整備局

名古屋港湾事務所

我が国の優れた港湾運営を学ぶため、 海外港湾技術者が名古屋港を訪れました

～JICA 研修生14カ国18名が名古屋港を視察しました～

1. 概要

現在、独立行政法人国際協力機構(JICA)が開発途上国の港湾管理の責任を有する幹部職員に対して港湾行政及び管理運営分野の更なる知識習得を図ることを目的に平成26年度課題別研修「港湾戦略運営」を実施しています。

その一環として、11月6日(木)にブラジル、ブルンジ、カンボジア、コートジボワールをはじめとした14カ国、合計18名の研修生が名古屋港を訪れ、我が国の優れた港湾運営を学びました。

午前中は、飛島ふ頭南側コンテナターミナルを訪れ、自動化が進むコンテナターミナルを視察し、その後、午後からは新宝ふ頭の完成自動車輸出ターミナルを訪れ、完成自動車の積み込み等を視察しました。

※JICA 集団研修は、開発途上国のそれぞれの国が取り組んでいる港湾政策について、研修員相互が討論し成果を自国に反映させ、各国の港湾にかかわる諸問題の解決と社会経済の発展に寄与することを目的として実施しており、国土交通省港湾局が1963年から研修員を受け入れています。

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス。

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) Tel 052-651-6763 Fax 052-652-0303

4. 行程(概略)

11月6日(木)

午前 : 飛島ふ頭南側コンテナターミナル 視察

午後 : 新宝ふ頭完成自動車輸出ターミナル 視察



5. 研修の様子



飛島ふ頭南コンテナターミナル視察の様子 その1
概要説明



飛島ふ頭南コンテナターミナル視察の様子 その2
荷役機械の遠隔操作室を視察



飛島ふ頭南コンテナターミナル視察の様子 その3
視察後の集合写真



飛島ふ頭南コンテナターミナル視察の様子 その4
視察後の集合写真



完成自動車輸出ターミナル視察の様子 その1
自動車専用船への積込状況を視察



完成自動車輸出ターミナル視察の様子 その2
概要説明



研修生の視察状況

○飛島ふ頭南側コンテナターミナル視察

飛島ふ頭南側コンテナターミナルは、世界で初めてラバータイヤ式ガントリークレーンの遠隔自動化を実現し、日本で初めて自働制御による無人のコンテナ輸送用台車を導入しています。研修生は自動化コンテナターミナルを作った背景や課題、荷役機械の処理能力などに興味を示し、活発な質問をしていました。

○新宝ふ頭完成自動車輸出ターミナル視察

その後、国内外への完成自動車輸送拠点となっている新宝ふ頭完成自動車輸出ターミナルを視察しました。概要説明の際には、搬入から船積みまでのオペレーション手法など興味深く質問していました。